

J A 柏崎自己改革工程表（令和元年度）

成果目標

- | | | | |
|----------------|---------|--------------------------|-----------|
| ① 担い手経営体の面積シェア | 60%以上 | ③ こだわり米取扱量 | 年間27,400俵 |
| ② 園芸重点8品目の作付面積 | 年間 48ha | ④ 地場産品を使った料理講習・食農研修の実施回数 | 年間12回 |

成果目標実現に向けた重点施策と目指す姿		年次工程(実施具体策・到達目標)
		令和元年度
地域農業の担い手の育成・支援	担い手経営体を育成し、6割の生産をカバーする。	○TAC担当4名による、担い手経営体への育成支援 資金融資による上期農業融資 ○新規就農の生産者へ青年就農給付金を活用するための相談面接を行う。 ○農地中間管理事業、農地集積円滑化事業を通じ農地の集積・集約化の支援を行う。
	評価指標：担い手経営体の面積シェア	目標：60%以上（実績： %）
	担い手経営体に対するJAのTAC活動を強化し、所得向上の支援をする。	○TAC担当4名が単収の少ない生産者をリストアップし、収量向上を図り所得確保の相談を行った。（各担当4名） 重点訪問先 12件
評価指標：個別相談	目標：36件（実績： 件）	
生涯現役・一生農業運動を展開し、多様な担い手を確保する。	○定年帰農者向け畑作講習会 ○正組合員の減少対策として総合情報データベースを活用したなかで組合員家族等をリストアップし、一戸複数正組合員化を実施する。	
評価指標：一戸複数正組合員指数（※）	目標：1.2以上（実績： ）（※）正組合員数÷正組合員戸数	

成果目標実現に向けた重点施策と目指す姿		年次工程(実施具体策・到達目標)
		令和元年度
園芸生産の拡大	園芸重点8品目の生産拡大を48haを達成する。	○玉ねぎ乾燥調製機・収穫機の拡充整備 玉ねぎについては定植・収穫機械を貸出 乾燥調整 処理量 予冷庫で保管量 ○枝豆、色彩選別機導入 枝豆の作付け面積拡大 調整荷受け処理量 A品出荷率 ○大規模農家、生産法人を中心に作付け普及推進
	評価指標：重点品目作付面積	目標：48ha（実績： ha）
	食農教育の推進を目指し学校給食供給率の拡大	○学校給食供給 学校給食納入 30品目 出荷量 供給率
評価指標：供給率	目標：60%（実績： %）	
農産物直売所を生涯現役・一生農業運動の拠点と位置づけ、直売所取扱高を拡大する。	○愛菜館 地場産農産物売上 地場野菜販売 計画 89,000千円	
評価指標：直売所取扱高	目標：2億8,900万円（実績： ）	

成果目標実現に向けた重点施策と目指す姿		年次工程(実施具体策・到達目標)
		令和元年度
米の品質向上と多様な品揃え	中干しによる確実な生育抑制を図りスリムな稲づくりを目指し1等米比率の高位安定化。	○中干し指導会 77会場 ○穂肥指導会 84会場 緊急案内 穂肥1回 ○低コスト省力化技術指導会
	評価指標：1等米比率	目標：95%以上（実績： ）
	土づくりによる登熟後半までの稲体活力維持	○土壌分析は1年30ヶ所調査 10月 土づくり指導会 4会場 秋すき込み状況調査中
評価指標：秋すき込み率	目標：30%（実績： ）	
差別化商品としての「こだわり米」の取扱拡大。	○こだわり米目標 葉月みのり 80.0ha 6800俵 7割減減 10.0ha 800俵 あきだわら 80.0ha 8,800俵 ゆきん子舞 100.0ha 11,000俵	
評価指標：こだわり米取扱量	目標：27,400俵（実績： 俵）	

成果目標実現に向けた重点施策と目指す姿		年次工程(実施具体策・到達目標)
		令和元年度
食農教育を核とした地域の活性化	健康への関心が高いことから好評のウォーキングをJAの取り組みとして拡充	○管内地域に特化した活動を行う 女性部全体、支部で独自ウォーキングを開催
	評価指標：上記活動参加者数	目標：200名（実績： 名）
	小学5年生の米づくり体験の支援を充実させる。	○田植体験指導の実施 ○稲刈り体験指導の実施
地場産品を使った料理講習・食農研修の実施等、食農教育を通じた地域住民の健康増進と絆を深める取り組み。	地場産品を使った料理講習 ○食育プロジェクトの開催 ○野菜と酢を使用した料理教室の開催	
評価指標：上記活動取組み回数	目標：月1回（実績： 回、月 回以上開催）	